

豊見城市いじめ問題専門委員会（第三者委員会）関連記事

回	年月日	沖縄タイムス	琉球新報	備考
第1回	H28 3.2 水			
第2回	3.23 水	<p>自殺調査中立を確認 本島南部の第三者委</p> <p>本島南部の公立小学校に通う 4 年生男児が昨年 10 月、自宅で自殺した件で、自殺の背景調査と原因究明を行う新たに設置した第三者委員会の 2 回目の会合が 23 日開かれた。中立、透明性を意識して調査を行うなどの方向性を確認した。</p> <p>会合後に会見した同委員長によると、アンケートや聞き取り調査は方法、形式などを含めて次回の会合以降に議論を深めるという。このほか、諮問内容に沿って広い範囲で迅速に調査することなども確認した。次回会合は 4 月 18 [マ] 日の予定。(3/24) P1</p>	<p>豊見城・小 4 自殺「透明性持ち調査」 第三者委が会合</p> <p>豊見城市内の小学 4 年男児が昨年 10 月に自殺した問題で、同市教育委員会が新たに設置した第三者委員会は第 2 回会合を 23 日、市役所で開いた。委員長の天方徹弁護士は会合後、「事実を明らかにするための調査をどう進めていくかは未定だ。次の会合で決めていく。中立、公正、透明性を持った形で取り組んでいく」と述べた。</p> <p>会合では、前の第三者委が行った基本調査や市教委が提出した関連資料について委員が目を通した。天方委員長は「時間がたっており、年度もまたぐことになる。いろんな意味で事実関係の調査が難しくなっている」との認識を示した。(3/24) P2</p>	
第3回	4.20 水	<p>小 4 男児自殺で聞き取り調査へ 第三者委、来月から</p> <p>本島南部の小学校 4 年生男児（当時）が昨年 10 月、自宅で自殺した件で、自殺の背景調査と原因究明を行う第三者委員会の第 3 回会合が 20 日開かれ、5 月の会合以降、聞き取り調査を実施することを確認した。(4/22) P4</p>	<p>豊見城小 4 自殺聞き取り調査へ 来月から、第三者委</p> <p>豊見城市内の小学 4 年男児が昨年 10 月に自殺した問題で、同市教育委員会が設置した第三者委員会は 20 日午後、市役所で第 3 回会合を開いた。次回 5 月 18 日に実施する会合から関係者への聞き取り調査を開始することを決めた。委員長の天方徹弁護士は「調査は短くても半年はかかるだろう。（調査の）対象者は明かせないが、一般論として児童を含む学校内外の関係者になる。10 人ぐらいを想定している」と述べた。</p> <p>第 3 回会合では、遺族の要望を受け、遺族が推薦するいじめ防止などの活動に取り組む関係者 1 人を委員に加えることを了承した。新たな委員の加入により、委員会は 6 人構成となった。</p> <p>委員会でもとめる結論について</p>	

			天方弁護士は「いじめの有無の認定や自殺との関連性、学校の対応が適切だったかなどになる」と説明した。(4/21) P3	
第4回	5.18 水	小4 男児自殺で両親に聞き取り 本島南部の第三者委 本島南部の当時小学4年生男児が昨年10月、自宅で自殺した件で、自殺の背景やいじめとの関連など原因を調査する第三者委員会の第4回会合が18日に開かれ、男児の両親に、事件直前の男児の様子など事実関係の聞き取りを行った。委員会では次回以降、聞き取りの内容をもとに議論や評価を行い、事実の認定を行う。(5/20) P6	豊見城小4 自殺両親に聞き取り 第三者委 豊見城市内の小学4年生の男児が昨年10月に自殺した問題で、同市教育委員会が設置した第三者委員会は、18日午後、市役所で4回目の会合を開いた。委員会終了後、委員長の天方徹弁護士は男児の両親への聞き取り調査を実施したこと報告し、「本人の性格や学校や家庭での普段の様子、事件までの間の変化や出来事など、基本的な事実関係を確認した」と説明した。(5/19) P5	
第5回	6.8 水	小4 自殺調査法を検討 本島南部第三者委が会合 昨年10月、本島南部の当時小学4年生男児が、自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連など原因を調査する第三者委員会の第5回会合が8日に開かれ、今後の調査方法などを検討した。 詳細アンケートの実施や聞き取りについて、引き続き慎重に実施することを確認。 その上で委員長は「事件発生から年度をまたいでいることもあり、年内に結論を出すことは難しい」との認識を示した。(6/12) P8	豊見城小4 自殺年明けにも結論 第三者委、5回目の会合 豊見城市内の小学4年の男児が昨年10月に自殺した問題で、同市教育委員会が設置した第三者委員会は8日、市役所で5回目の会合を開いた。会合後、委員長の天方弁護士は結論が出る時期について「年明けになるだろう」との見通しを示した。同日の会合では今後の調査対象や調査手法などを議論した。 天方氏は「発生から時間が経過していることもあり、じっくり正確にやる方向で考えている」と述べた。(6/9) P7	
第6回	7.20 水	小4 男児自殺で関係者聞き取り 本島南部の第三者委 本島南部の公立小学校に通う、当時4年生男児が昨年10月、自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調べる第三者委員会の第6回会合が20日に開かれ、関係者から事実関係の聞き取り調査をおこなった。(7/22) P9		
第7回	8.23 火	豊見城男児自殺で第三者委会合 本島南部の公立小学校に通う当時4年生男児が昨年10月、自宅で自殺した件で、自殺といじめの関	豊見城小4 自殺学校関係者聴取 第三委「重要な調査」 豊見城市内の小学4年の男児が昨年10月に自殺した問題で、同市	

		<p>連など原因を調査する第三者委員会の第7回会合が23日あった。今回は学校関係者を対象に、学校での児童の様子や、学校側が行ったアンケートでいじめをうかがわせる内容があったかなどの聞き取りを行った。</p> <p>来月開く次回委員会も引き続き、学校関係者から聞き取りを行う予定。(8/28) P11</p>	<p>教育委員会が設置した第三者委員会は23日、市役所で7回目の会合を開き、教員など学校関係者3人への聞き取り調査を初めて実施した。会合後、委員長の天方弁護士は「児童の学校での様子やいじめを疑わせる事案の有無、自殺に至る兆候があったかなどを聞いた。非常に重要な事実調査となった」と述べた。</p> <p>次回会合は9月14日に実施し、今回とは別の学校関係者2、3人に聞き取り調査をする予定という。(8/24) P10</p>	
第8回	9.14 水	<p>小4男児自殺で学校関係者聴取第8回第三者委員会</p> <p>本島南部の公立小学校に通う4年男児(当時)が昨年10月、自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調査する第三者委員会の第8回会合が14日開かれ、前回に続き学校関係者に聞き取りを行った。今回は学校関係者1人に対して、自殺する前の学校での児童の様子や学校側の対応について考えを聞いたという。</p> <p>委員会は、前回会合からこれまで、関係者に電話調査も実施した。一方で同委員長は「検証対象が広く、調査に時間を要する」として、年内中に結論を出すことは難しいとの見解を示した。(9/17) P13</p>	<p>豊見城・小4自殺第三者委が会合学校関係者聞き取り</p> <p>豊見城市内の小学4年の男児が昨年10月に自殺した問題で、同市教育委員会が設置した第三者委員会は14日、市役所で8回目の会合を開いた。同日は前回に続いて学校関係者1人から聞き取りを実施した。会合後、委員長の天方徹弁護士は「報告書は春ごろまでかかるかもしれない」との見通しを示した。(9/15) P12</p>	
第9回	10.21 金			
第10回	11.29 火			
第11回	12.21 水	<p>学校側の対応第三者委調査南部の小学校いじめ</p> <p>本島南部の公立小学校に通う4年男児(当時)が昨年10月、自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調査する第三者委員会の第11回会合が21日に開かれ、学校関係者から事件発生後の学校側の対応などの聞き取りを行った。</p> <p>同委員長によると、主に各学校に策定が義務付けられている、いじめ防止基本方針の取り組みについて話を聞いたという。委員会では今後、調査と並行して報告書の</p>	<p>第三者委が報告書着手豊見城小4男児自殺</p> <p>豊見城市内の小学4年の男児が昨年10月に自殺した問題で、同市教育委員会が設置した第三者委員会は21日、市役所で12回目の会合を開いた。会合後、委員長の天方徹弁護士は「報告書のごく大きな方針を議論し、骨子を作った。委員の大まかな役割分担も話し合った。具体的な作業はこれからだが、報告書に着手した形だ」と報告書作成の作業に入ったことを説明した。</p> <p>具体的な執筆作業は1月の会合</p>	

		作成に着手する。骨子にいじめの有無や再発防止に向けた反省点などを盛り込むという。(12/23) P14	後以降になるといい、各委員はそれまでに個別で準備を進める予定。報告書作成の作業と並行して情報が足りない部分の聞き取り調査を続ける方針で、1月は男児の両親から2度目の聞き取りを行う予定。報告書の完成は来年の夏ごろの見込み。(12/26) P15	
第12回	H29 1.31 火	いじめ自殺調査両親に進展説明 本島南部 第三者委 本島南部の公立小学校に通う4年男児(当時)が昨年10月、自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調査する第三者委員会の第12回会合が1月31日に開かれた。亡くなった児童の両親に来てもらい、報告書作成の進展などを説明したという。委員会は一定の聞き取り調査を済ませたという認識を示しており、これまで聞き取った内容の重要度や信用度を判断し、評価する作業にはいる。同委員長は「報告書は今春以降、早い時期の完成を目指している」と話した。(2/4) P17	いじめ有無事実認定へ 豊見城自殺、第三者委 豊見城市内の小学4年の男児が2015年10月に自殺した問題で、同市教育委員会が設置した第三者委員会は31日、市役所で12回目の会合を開いた。 委員長の天方徹弁護士は会合後、年末の委員会から着手した報告書について「いじめの有無の事実認定をし、ある場合は自死との因果関係を明らかにする。学校側が自死を防ぐことができたかや事後の問題点、委員会の提言も入れ込む」と大まかな方向性を示した。(2/1) P16	
第13回	2.28 火			記者会見 無し
第14回	3.21 火	男児自殺報告書作成で意見交換 本島南部 第三者委 本島南部の公立小学校に通う4年男児(当時)が昨年10月、自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調査する第三者委員会の第13回[マ]会合が21日開かれた。年明け以降、作成が始まった報告書の内容について、意見交換したという。 委員長によると、報告書作成と並行していじめの有無を知る可能性のある人への聞き取りを引き続き実施する。その上で、証拠の信頼性を評価しながら事実認定するという。 報告書は、早くも7月にまとめられる予定。(3/22) P18	豊見城小4自殺7月にも報告書 豊見城市内の小学4年の男児が2015年10月に自殺した問題で、第三者委員会は21日、市役所で13回[マ]目の会合を開いた。委員長の天方徹弁護士は報告書の完成の[マ]について「早ければ7月、遅くても9月ごろにはというイメージだ」とし、全体の作業についても「終盤に差し掛かりつつある」と説明した。 報告書は公表が前提となっているとし「公表の在り方については教育委員会で調整することとなる」と話した。(3/22) P19	

第15回	4.18 火	<p>男児自殺報告書 9月以降見通し 本島南部 第三者委</p> <p>本島南部の公立小学校に通う 4年生男児(当時)が 2015年 10月、自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調査する第三者委員会の第 15 回会合が 18 日開かれ、委員長が同じ学校の保護者へ、いじめの有無など聞き取り調査を行ったことなどを説明した。また、報告書完成は 9 月以降との見通しを示した。委員長によると、5月の会合では、これまでの調査で出てきた内容について、複数の家族に聞き取りする考え。6 月にはなくなった児童の保護者、7 月には学校関係者に行う方針。</p> <p>報告書は、いじめの有無や自殺との因果関係、未来への提言などについて委員長を含む委員 6 人が執筆する。(4/19) P20</p>		
------	--------	--	--	--